

第7期介護保険事業計画「取組と目標」に対する自己評価シート

市町村名	久慈広域連合
所属名	介護保険課

※「介護保険事業（支援）計画の進捗管理の手引き（平成30年7月30日厚生労働省老健局介護保険計画課）」の自己評価シートをもとに作成

第7期介護保険事業計画に記載の内容				令和2年度（年度末実績）		
区分	現状と課題	第7期における 具体的な取組	目標 （事業内容、指標等）	実施内容	自己評価	課題と対応策
① 自立支援、介護予防、重度化防止	○ 総人口は年々減少しているものの高齢者数は増加しており、全国や岩手県と比較し、高い高齢化率となっている。 ○ 要介護認定率は、全国平均をやや上回るものの県平均を下回っているが、介護予防・日常生活総合支援事業開始に伴った一時的な認定者数の減少と考えられ、今後は高齢者の増加に伴って認定者数及び認定率も増加することが予想される。 ○ 一般高齢者のうち、認知機能の低下が6割強、うつ傾向が4割と多いため、新たな要介護認定者にならよう介護予防事業や生活支援サービスの充実が必要となっている。	○生活支援サービスの提供・充実	生活支援サービス（従前相当及び緩和した基準除く）の実施 (H29) (H30) (R1) (R2) 実施市町村数 2 2 4 4 ※令和元年度中には全ての市町村でサービスを開始することを目標とする。 ※H29は実績値、H30以降は目標値	生活支援サービス実施市町村数：3市町村 ・久慈広域連合介護保険事務担当者会議での情報共有（担当者会議開催回数：3回）	○	社会資源の状況等により全市町村での実施及びサービスの充実が難しい。今後も情報共有しながら取組を進める。
① 自立支援、介護予防、重度化防止		○一般介護予防事業の実施	介護予防体操の実施 (H29) (H30) (R1) (R2) 実施市町村数 2 3 3 4 ※平成32年度までに全ての市町村での実施を目標とする。 ※H29は実績値、H30以降は目標値	介護予防体操実施市町村数：4市町村	◎	介護予防体操の取り組みは順調に進んでいるが、通いの場を活用した生活支援サービスの創設にはなかなか進まない。
① 自立支援、介護予防、重度化防止		○地域ケア会議の推進	自立支援型地域ケア会議の開催 (H29) (H30) (R1) (R2) 開催市町村数 0 1 2 4 ※平成32年度までに全ての市町村での開始を目標とする。 ※H29は実績値、H30以降は目標値	自立支援型地域ケア個別会議の実施市町村数：3市町村	○	自立支援型ケア会議未実施の市町村についても、実施に向けた情報収集等を行っていく。
② 介護給付等費用の適正化	○ 保険給付費が年々増加傾向にある中、介護サービスを必要とする高齢者を適切に認定し、高齢者が真に必要なとする過不足のないサービスが提供されるよう、介護給付適正化事業を実施しているが、専門的な知識が不足していること等により、ケアプラン点検は実施できていない。	○ケアプラン点検の実施	(H29) (H30) (R1) (R2) 地域ケア会議を活用した点検 0 5 5 5 訪問調査等による点検 0 1 1 1 ※地域ケア会議：点検プラン件数 訪問調査等：点検事業所数 ※H29は実績値、H30以降は目標値	地域ケア会議による点検：1件 訪問調査等による点検：4事業所、5件	◎	地域ケア会議は市町村ごとに開催していることから、地域ケア会議による点検数は評価の対象外とした。訪問調査等による点検は目標を達成。 点検するケアプラン件数を増やしていきたいが、ケアプラン点検は実地指導時に実施しており、点検を実施する職員の不足並びに事業所のケアマネの人数等の要因により点検できるプラン数に限界がある。